

令和5年 2月10日
国立大学法人岡山大学
国立高等専門学校機構津山工業高等専門学校
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

第3回「EReTTSa」シンポジウム～森林バイオマスの利活用による脱炭素・地方創生～ の開催について（お知らせ）

国立大学法人岡山大学、独立行政法人国立高等専門学校機構津山工業高等専門学校、及び国立研究開発法人日本原子力研究開発機構は、それぞれ二者間で包括的な連携協力協定を結んでおり、それら連携協力を核に三機関が有する産学官連携機能を有効的に活用した取り組みを進めています。

その一環として、津山工業高等専門学校と日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターが位置する作州地域に目を向け、三機関が協力してさまざまな課題や要望に取り組むことで、作州地域の地域的な盛り上がりにつなげていければと考えております。

今回は、森林バイオマスが秘める無限の可能性に着目し、脱炭素と地方創生の両方を目指されている自治体や企業の方々をお招きして以下のシンポジウムを開催いたしますのでお知らせいたします。

1. 主 催 国立大学法人岡山大学
国立高等専門学校機構津山工業高等専門学校
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
2. 開催日 令和5年3月14日(火)13時～15時30分
3. 開催方式 オンライン配信（Zoom方式）
4. 参 加 どなたでも参加いただけます。
以下専用フォームに必要事項をご記入のうえお申し込みください。
<https://onl.1a/KccJ4gh>
5. 申込締切 令和5年3月10日（金）
6. 当日のプログラム 別紙のとおり

小さな場所から始まる
未来のサイクル

2023.3.14 (Tue)

参加
無料

13:00-15:30 オンライン開催

定員 100名 申込期日 2023年3月10日(金)

申込方法 下記URLまたはメールにてお申込みください。
<https://onl.la/KccJ4gh>

申込フォーム
▶



森林バイオマスの 利活用による 脱炭素・地方創生

PROGRAM

13:00 | 開会挨拶

13:05 | 基調講演

[題目] 小さな木質バイオマス事業を起点とした地方創生

井筒 耕平 (株式会社sonraku 代表取締役)

愛知県出身。北海道大学と名古屋大学とで学んだのち、再エネ導入に関するコンサルタントとして活躍。その後、会社を辞めて岡山県美作市の地域おこし協力隊となり、2012年に西粟倉村にて「村楽エナジー(現・株)sonraku」を設立。現在は北海道へ移住し、厚真町にてバイオマス熱電併給事業に挑戦中。休日は少年野球のコーチも務める異色の経歴。



13:50 | 取組紹介

[題目]

脱炭素社会が山村地域にもたらす恩恵
～脱炭素先行地域・西粟倉村の取組～

上山 隆浩 (西粟倉村 地方創生推進室 参事)

[題目]

木材資源大国、日本の挑戦

田原 義彦 (院庄林業株式会社 常務取締役)



14:10 | 研究紹介等

[題目] 太陽光発電システムの安全性向上のための故障検出技術の開発
平田 航 (津山工業高等専門学校 専攻科電子・情報システム工学専攻1年)

[題目] 人形峠環境技術センターの挑戦

木原 義之 (日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター 所長)

[題目] バンブーファイバー製マイボトル普及キャンペーン
磯野 楓也・伊藤 優希 (岡山大学 農学部 1回生)

[題目] 脱炭素×筋トレ

岡村 あすか (岡山大学 教育学部 1回生)

休憩

14:40 | パネルディスカッション

テーマ 地方における森林バイオマスの利活用・脱炭素・地域活性化

ファシリ
テーター

駄田 井 久
(岡山大学 グローバル人材育成院 准教授)



パネリスト

井筒 耕平、上山 隆浩、田原 義彦

15:30 | 閉会挨拶